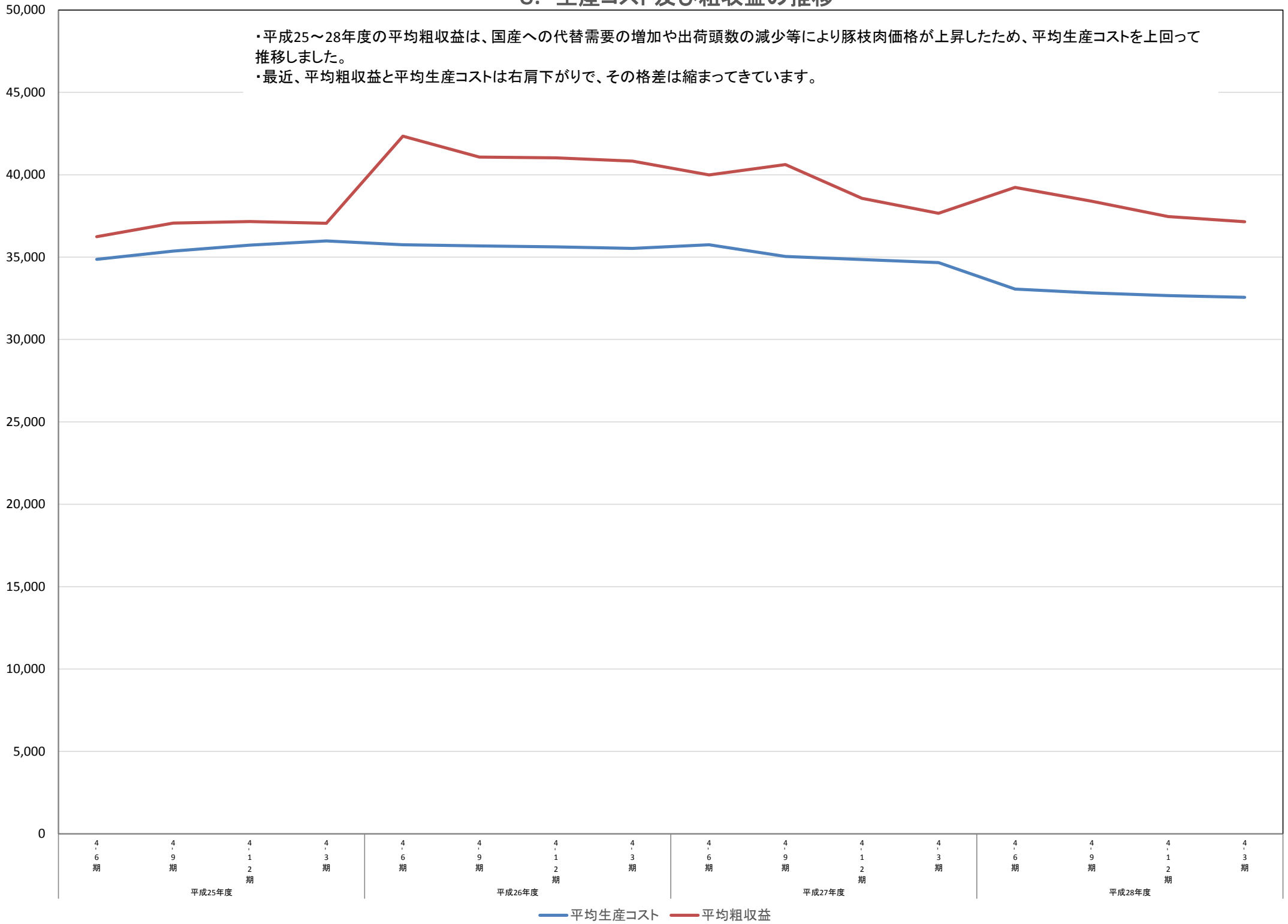


3. 生産コスト及び粗収益の推移

- ・平成25～28年度の平均粗収益は、国産への代替需要の増加や出荷頭数の減少等により豚枝肉価格が上昇したため、平均生産コストを上回って推移しました。
- ・最近、平均粗収益と平均生産コストは右肩下がり、その格差は縮まってきています。



養豚経営安定対策事業

3平均生産コスト及び平均粗収益の推移 (単位:円)

年度	月 期	平均生産コスト	平均粗収益
平成25年度	4-6期	34,869	36,238
	4-9期	35,364	37,064
	4-12期	35,727	37,161
	4-3期	35,989	37,052
平成26年度	4-6期	35,746	42,346
	4-9期	35,686	41,067
	4-12期	35,619	41,022
	4-3期	35,532	40,824
平成27年度	4-6期	35,746	39,992
	4-9期	35,039	40,615
	4-12期	34,853	38,572
	4-3期	34,663	37,655
平成28年度	4-6期	33,057	39,231
	4-9期	32,833	38,399
	4-12期	32,670	37,462
	4-3期	32,565	37,149

注:平成25年度からは、新マルキン事業と同様の補てん金算定方式に変更。補てん金単価は差額の80%。